

# 千年の森便り No.198

2020.1.24

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄 編集 真鍋昌義

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

1月19日(日) 快晴

2020年幕開けの活動日は晴天、微風の穏やかな日でした。前日の氷雨と一変した青空をバックに、冠雪の富士山を遠くに見ながら豊英島へ向かいました。

林内はまだまだ台風被害の倒木、落ち枝で足の踏み場も無い状態ですから、今年も林内整備に励

まなければなりません。それには何より安全作業が肝心ですから、新年の活動開始はホコラ山での安全祈願です。松田さん持参の幣でお清め、祝詞の後全員が二礼二拍手一礼の正式作法で祈りました。



快晴の森は青く輝き



林床には前日初雪の残雪が



年頭恒例の安全祈願



松田神主のお祓いで



参加会員は12名

小冊子「豊英島の自然」(増補版)の編集も福島さん始め各担当のご尽力で最終段階に至っています。春には新装本が会員に配布される見込みですからお楽しみにお待ちください。

また、チェーンソー、刈払機、新型自動カメラの購入に向け、事務局長は補助金の申請作業中ですから装備も充実するでしょう。これも楽しみです。

何時もの事ながら当会の多彩な人材力を合わせて、意義ある活動にしたいと思っていますので、皆様本年も宜しく願います。(坂本)

参加は秋元、伊藤、鶴沢、大原、苅米、久我夫妻、栗山、坂本、福島、真鍋、松田の12名でした。



ヤブツバキ



コショウノキの蕾



オニシバリの蕾

## ○台風被害の後始末は長期戦

台風 15 号から 4 ヶ月経過したが被害の爪痕はいまだに大きく残っているため、引き続きの後始末に取り組みました。これまで手付かずだった危険木に取り組みチームと、先月までに伐採だけ終わった場所をさらに整理して安心して活動できるよう整備するチームに分かれて行動しました。

前者は、かかり木状態になった幹折れ大径木の処理に特段の注意を払って取り組み数本を処理しました。後者は、散乱している落枝なども併せて片付け、冬らしい明るい林床が見えてきました。

支障木の完全な処理まではまだ時間がかかりそうですが、遊歩道を安心して歩けるところまではあと数回の内に持っていきたいものです。（伊藤）



上部で折れたコナラの伐採作業



倒れたコナラの枝を処

僅かに積雪が見られる島の中は、朝方寒かったけど日中は、樹々の間から差し込む陽射しが暖かく、楽しく作業が出来ました。

広場の周りには、折れた枝や伐倒された木が、うず高く積み重ねられているのを、チェーンソーで切断しました。これを久我則子さんと松田さんが整理されたので、広場の周囲が広々となりました。（久我哲也）



散乱する倒木をチェーンソーで切断し



切断した幹と枝を積み上げて整理

## ○ついにイノシシ上陸か

吊り橋から千年広場に向かう通路脇の土が掘り返され、落ち葉がかき回されていました。よく見るとあちこちに同じ痕跡が見られます。ついに豊英島にもイノシシが上陸した気配です。久我夫人の嗅覚によれば同家の畑を荒らすイノシシと同じ排泄物の臭いが島内に漂っているそうですから間違いのないようです。島内の害獣対策も新段階に入る年になりそうです。（坂本）

センサーカメラはメンテナンス中のため、肝心の証拠写真はありません。早期の撮影再開が期待されます。（真鍋）



落葉と土掻き分け餌探し？

## お知らせ

### ○次回活動日 2 月 16 日（日）

森林整備（主に台風被害復旧）、動植物調査、光環境調査（冬）などを行います。清和自然休養村（直売場）9 時 30 分集合です。

全員ヘルメット着用をお忘れなく。チェーンソーお持ちの方は持参ください。チャップスも。